

「face to faceを科学する」月刊イベントマーケティング

EVENT MARKETING 62

August 31, 2020

特集
つながるエンタメテック



今月のインタビュー
「ミスベリング」プロジェクト事務局プロデューサー

山名 清隆さん

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 5F
TEL:03-6721-5303 sofu@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp



再開の道のりをどう歩むか

大型展示会が再開した！と聞いて、7月末から8月にかけて、大阪、千葉、神戸、と会場を訪れた。その皮切りとして大阪で開催された「第12回関西ホテル・レストラン・ショー」含む7つの専門展示会には、特に、展示会主催者を筆頭に多くのMICE関係者300名以上が訪れ、感染拡大防止と経済再生に向けた両立の道を歩みだす、というその第一歩

を自分の目で確かめていたのが印象的だった。

ニューノーマルな展示会では、入り口で人数制限や時間指定入場など、登録時に用意されていた新様式の体制をしっかりと実施しており、主に主催者による細かい配慮と安心安全の見える化が一つの安心感をつくっていた。会場受付も、自治体ごとの感染追跡

サービスの登録、サーモグラフィカメラでのチェックと個別の検温の実施などが厳重だ。一方で、会場内に入ると来場者と出展者の商談風景は、マスクやフェイスガードをしていなければ、以前の会場風景とほとんど変わらないというのが実際のところだ。ドイツでは、さまざまなイベントのなかでも、展示会は禁止対象から外されており、州政府の判断で感

染防止策の徹底の上で開催できるようになったのは、ビジネススペースでのイベントということで、特定多数のひとが集まり(特定がしやすい仕組みがある)、飛沫が飛ぶ状態が続く参加態度ではない、ということが大きい。

ただ、これまでの商談風景は変わらなくとも相対的な参加者数には課題が残る(4p参照)。新しい展示会には、出展者も参加者も、一企業でというよりも、個々に主体的な目的と覚悟をもって参加することになっていくのだと思う。そうなったとき、もっと展示会は面白くなっていくのではないだろうか。

すべてのイベントの悩みは、イベントレジストにお任せください！
 ビジネスイベントの豊富な経験と実績、イベント主催者様の立場になってサポートします

- 申込受付管理**
ウェブ事前受付
オンライン決済
チケット発券
- 各種事務局**
来場者事務局
スポンサー事務局
登壇者事務局
- 企画制作・運営**
カンファレンス
各種イベントの
企画制作・運営
- 集客広告**
各種ウェブ広告
各種 SNS 広告の
提案・運用

イベントレジスト株式会社
<http://eventregist.com> 【資料請求・お問い合わせ】 MAIL:contact@eventregist.com TEL:03-6869-5592

つながるエンタ

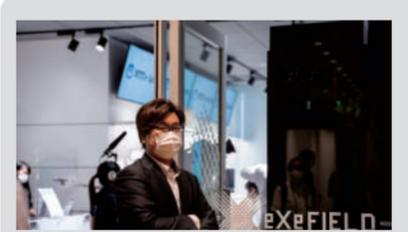
展示会やビジネスイベントと同様に、コロナ禍の影響を大きく受けているライブ・エンターテインメント産業。収容率50%未満など厳しい開催条件のなか、テクノロジーを駆使して新たな価値を提供し、顧客満足度を向上させている取組みを紹介する。

【e-Sports × 地域イベント】 「eXeField Akiba」を開業 ICT × eスポーツの交流施設

株式会社NTTe-Sportsは、秋葉原UDX内に「ICT × eスポーツ」を通じて新しい文化・社会を創造する交流施設「eXeField Akiba (エグゼフィールド アキバ)」を8月11日に開業した。

NTTe-Sportsは2020年1月に設立し、ICTとeスポーツを掛け合わせて地域活性化をするというミッションを掲げている。同社は現在「施設事業」「サポート・教育事業」「プラットフォーム事業」「イベントソリューション事業」「地域活性化のコンサル事業」の5つの事業を展開。施設事業として新たに開業した「eXeField Akiba」では、最先端のICTと最新の機材を備え、人と人、地域と地域を繋げる拠点とすることで、幅広い層へのeスポーツの文化の定着とコミュニティの形成、eスポーツ関連技術の発展を目指した施設運営を推進していく。

コロナウィルス禍の状況を踏まえオンラインイベントの配信に特化した施設であり、他の地域で同様の施設を作りたい方々にとって参考にしてもらえるようなショールームでもあると考え、施設の提案を行うための拠点という位置づけも兼ねている。



株式会社NTTe-Sports
代表取締役副社長 影澤潤一さん

—街おこしイベントや各地との交流イベントなどについて、期待することや具体的に予定があれば教えてください

影澤 コロナウィルス禍の影響が出る前は、地元のお祭りや青年会の集まりなどへ若い方向けのeスポーツを取り入れたいという声が多くありました。リアルで集まるのが難しくなり集まる場所の中心がオンラインとなった今、eスポーツを通じて地元を元気づける、地元の特産などをアピールする、ということを知りたくて行えるかという事を、地元と一緒に考えていると思っています。

うまく行くようであれば、ふるさと納税などを活用したり地元の特産品を売り込むイベントのようなものも行っていき、それを観てもらおうためのコンテンツとして、eスポーツを活用していけるのではないかと考えていて、そういったシーンを地域と一緒に作って行ければと考えています。



配信エリア
充実した配信機材・IPプロダクションを完備しているため、「eXeField Akiba」を拠点とした全国各地を繋ぐオンラインイベントの開催やYoutube等のインターネットLIVE配信が可能



ICTエリア画像解析で
ピースサインを検知して撮影することができる富士フィルムのAIチエキ。撮影した写真はイベントごとの入館証などの用途への活用も想定



「北海道どこでも盆踊り」の実証実験では、北海道で「シャンコシャンコ」と呼ばれる子ども盆踊り唄にあわせてラビット・ユキネと雪ミクが踊る姿を、参加者全員が同じタイミングで視聴できた。

【クリプトン・フューチャー・メディア】 制約から生まれる新技術とアイデア

音声とインターネットで最初から国境を超えた初音ミク

「北海道を出ないでどこまでできるかゲーム」とクリプトン・フューチャー・メディア(以下、クリプトン)の伊藤博之さんが自身で言うように、世界中に活躍の場を広げるいまでも、北海道から本拠は移さない。

クリプトンの創業は1995年、ウインドウズ95の発売によりインターネット・PC時代が幕を開けた年だ。「インターネットは、どこにいても世界とつながれる」伊藤さんが開発・提供していた効果音やソフトウェア音源などサウンド素材の世界は、言葉の壁がなくすぐにグローバルな市場だった。世界中で人気のキャラクター「初音ミク」も、「さまざまな音源のなかで人の音声のニーズがあった」と2007年にVOCALOID2用の音源として登場したもの。インターネットと音声を中心に事業を行うクリプトン・フューチャー・メディアは場所という制約条件を超えてきた。

ライブエンタメの未来を開く 音楽連動制御 Songle Sync

ライブ・エンターテインメント業界は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でもっとも

大きな影響を受けた分野の1つ。「盆踊りまで中止になってしまったので、三密を回避しながらできるやり方を実験した」(伊藤さん)会場に組まれた槽に設置したスピーカーから音楽を流すかわりに、インターネット上で音声と映像を流し、参加者はイヤホンなどで聞くという方法だ。

そこで活躍するのが、大規模音楽連動制御「Songle Sync」という産業技術総合研究所が開発した技術だ。視聴する回線やデバイス開始時間などの条件により、通常は全員が同じタイミングで視聴はできないが、この技術により、数千ものデバイスにまったく同時にコンテンツを流すことができる。イベントでの一体感には欠かせないしくみだ。

伊藤さんは北海道の都市型フェスNoMapsの実行委員長も務める。NoMapsはさまざまな実証実験の場となっている。「制約条件のなかで生まれたアイデアがうまくはまり、日常的に普及するものもある。さまざまな実験をしながら、コロナ収束後に新しいイベントの形をつくっていきたい」と伊藤さんはいう。

今年のNoMapsは10月14～18日開催。オンライン中心に展開するが一部札幌で実施する催事もある。1年に一度地図のない未来に会いに行こう。

イベントプラットフォームの 決定版!!



スマホ1つでOK!
「アプリ」と「WEB」で
対応



様々なイベントに対応!
「ライブ配信」や「入場制限」
でソーシャルディスタンス

「eventos」は、コロナ禍におけるオンライン・ハイブリッドイベントにも対応します!

eventos



メテック



[シンコミュニティグループ]

感性とクオリティが人を動かす



XRとキャラクターで リッチコンテンツを

イベントや会場など、映像のある空間づくりを手がけるシンコミュニティグループは、コロナ禍で、バーチャル事業への取組みを強化。リアルな代替ではなく新しい体感・体験価値を生み出すXR(クロス・リアリティ)を提供している。8月6日・7日には「SYMUNITY xR HYBRID EVENT 2020」をオンラインで開催、展示会や株主総会などのビジネスイベントのほか、エンターテインメントでも活躍できるソリューションを紹介した。

映像制作・3DCG・プロジェクトマッピングなど映像表現の技術を進化させてきた同グループがXR事業の核としているのが「感性」だ。リアルからオンラインへの移行で課題となるマネタイズや、体験価値と満足度、継続視聴時間を高めるリッチコンテンツには、高精細な映像や音響だけでは不十分で、「見る人の気持ちを動かす心理的アプローチも必要」とシンコミュニティグループの事業会社シムディレクトの長田理香さんは語る。

性格づけが重要な バーチャルキャラクター

“感性”の部分で重要な役割を担うのがバー



シムディレクトの長田理香さん(左)とバーチャルキャラクターで対談



PRONews編集長の猪川トムさんは本紙編集室田中力とバーチャルキャラクターで対談

チャルキャラクターだ。シンコミュニティのタレント部には、現在5人のキャラクターが所属していて、現在ほかのキャラクターも育成中だという。年齢以外にも、働きざかりの元気者とか、野球が好き、といった特長、性格づけがされている。彼らをマネジメントするシムディレクトの舩井奈緒さんは「台本を声優さんが読むアニメキャラクターと違い、ステージ上のアドリブが中心。そのため発言内容もキャラクターの性格やバックボーンが反映される」という。ニーズに合ったキャラクターづくりや相性のいい仕事選びなど、実際のマネージャーと同じく手腕が問われそうだ。

企業イベントでは、技術開発者が演じるこ

とも可能だ。全身のモーションキャプチャー以外に、上半身だけのシンクロもできる。

ファンが育てる VTuber りむ

一方、キャラクターが固定しているのがVTuberだ。その誕生から成長していく姿をファンは見てSNSなどで交流できることで感情移入できる。ユーザーの意見や応援活動がキャラクターの将来を決める育成ゲーム的な要素もある。キャラクターのブランド力や集客力を活かせることや、さまざまなデジタルプラットフォームに対応できること、スキャンダルリスクがないことなど、キャスト側からみるとメリットが多い。シンコミュニティがプロデュースする「さみしが

りVtuber りむ」は、昨年11月のInterBEE(国際放送機器展)でステージデビュー。会期中通い詰めたファンもいるという。田舎から出てきた寂しがりでおっちょこちょいな女の子が、成長していくようすを応援するのはファン心理ががちり掴む。8月21日に投稿された動画では、視聴者参加型の新衣装オーディションの投票を呼びかけている。

シンコミュニティでは、コンテンツ制作、プログラム開発・WEB制作・技術検証・リアルタイム配信といった技術面だけでなく、企画やキャラクターづくり、台本作成など、“感性”の部分のサービス提供を強化している。テクノロジードリブンだけでなく、人の気持ちを動かすモノ・コトを、提供価値の中心に位置づけようとしている。



[シータイム]

#63 滋賀 で琵琶湖ランの啓発効果高める

ユニークベニューを走る 本格イベントをオンラインに

5月に滋賀県大津市で開催予定だった第63回日本糖尿病学会年次学術集会在、10月5日～16日に延期しオンライン開催となった。関係者が数年に渡り計画していた念願の滋賀開催がなくなり学会関係者や地元MICE関係者の落胆は大きかった。そこで、(株)シータイムの神村悠一郎さんが提案したのが、「RUN & WALK 2020 Virtual Challenge in Shiga」だ。同学会のランイベントは参加者が300人、学会開催地のユニークベニューがコースで、毎年参加するファンも多い。しかし、今回は新型コロナ感染拡大の影響を考慮し、中止せざるを得ない状況となった。

投稿あつめ、一体感と 健康増進・観光PRを

そこで3密を避けるため、各自でラン&ウォークを実施し、それをSNSに「#63滋賀」をつけて投稿してもらうことにした。1投稿を3kmと換算し全員分を合算して琵琶湖を何周できるかチャレンジする。周回ごとに地元の観光名所などを紹介する企画は、参加者の一体感を演出しつつ参加者が滋賀に来れな



くなった代わりに観光PRを実施して、観光振興につなげようという試みだ。

もともとRUN & WALKは、運動による糖尿病予防の啓発が目的で、今年から数十名ほど一般の方も参加する予定だった。オンラインになり参加者を増やせることや、SNSによる拡散が啓発という目的に合致することなど、オンラインのメリットを活かせる企画だ。走った距離をGPSなどで正確に計測することも検討したが、記録向上ではなく運動療法の実践という本来の目的にあったシンプルな手法を選択した。テクノロジー活用は目的でなく手段だと再認識させられた。

[第63回日本糖尿病学会年次学術集會 RUN & WALK 2020 Virtual Challenge in Shiga]

Web : <https://www.jds-runandwalk.jp>

SNS:フェイスブック、インスタグラム、ツイッター(「#63 滋賀」で検索)(Web とSNS

は9月7日公開予定) シータイム 神村悠一郎さん



西日本のWeb・マーケ
担当者のご要望に応え

ついに大阪でも開催！ 初回から180社が出展

※ 本広告に掲載の出展社数(同時開催を含む)は2020年6月1日時点での最終見込み数字であり、開催時には増減の可能性があります。

JapanマーケティングWeek 関西 内

第1回

関西 Web 販促 EXPO

同時開催 販促 EXPO / 広告宣伝 EXPO 他3展

会期: 2020年9月9日[水]~11日[金] 10:00~17:00

会場: インテックス大阪 (大阪駅から直通バス 約25分)

主催: リード エグジビション ジャパン(株) 後援: (公社)日本マーケティング協会

[お問合せ先] 主催者 リード エグジビション ジャパン(株) Web販促EXPO 事務局 TEL: 03-5324-1218 FAX: 03-6685-0912 E-mail: spex@reedexpo.co.jp

動画マーケティング、アプリ開発、
SNS活用、EC支援、
Web集客・解析などが一堂に出展

招待券請求(無料)はこちら

関西 Web販促 EXPO 検索



リアルの力 展示会 02

大型展再開と 新様式な出展



「第12回関西ホテル・レストラン・ショー」でライブキッチンを展開する出展者。床には密を避けるため立ち見用のガイドサイン

「AUTOMOBILE COUNCIL 2020」では前回まで紙のアンケートだったがQRに変更し実施していた

「第24回神戸国際宝飾展（IJK）」ではソーシャルバイヤー向けの簡易スタジオをブース内に設ける出展者も

7月29日にインテックス大阪で「第12回関西ホテル・レストラン・ショー」含む7つの専門展示会が開幕したのを皮切りに、7月31日には幕張メッセで「AUTOMOBILE COUNCIL 2020」が、そして8月9日から神戸国際展示場で「第24回神戸国際宝飾展（IJK）」が開催。政府が緊急事態宣言を解除した5月25日から、約2ヶ月が経過し、大阪、千葉、神戸とようやくリアル開催となる大型展示会が再開しはじめた。

新様式での展示会では、人数制限や出展者数の減少により、来場者数は前回は下回っている。来場者の減少は、海外からの参加が難しい国際展示会、出張の制限がある企業もあるなか全国から参加のある総合展示会などで、今後もしばらくは影響がみられるだろう。こうしたなかでも、出展を継続する企業や検討している企業は、これまでと同様、あるいは前回レポートを元にした出展計画を見直す必要がありそうだ。

事前アポ・事後フォローの必要

商談を目的にしている出展では、これまで以上に、しっかりとした事

前アポイントが必要だ。実際に既存バイヤーの姿が例年より少ないことを実感し、会期中に潜在顧客や新規顧客へ向けての声かけにシフトしている出展企業の姿もあった。事前のアポイントで展示会への来訪の有無を確認し、状況がある程度わかれば、新規顧客用の対応資料も前もって必要部数準備する必要がある。

また、通常通り既存顧客のブース来訪がある場合も、社内担当者の不在で商談機会を逃さぬよう滞在時間を把握しておきたい。展示会によってはブースでの対応人数に制限を設けている場合もある。リアルにブースに滞在できない場合は、オンラインミーティングなど対応する体制を

ブースの一角に整えるといったことも今後の新様式の一つになりそうだ。

ライブ配信やアーカイブ対応

ブース内セミナーや、商品ごとの説明など、プレゼンや展示のようすは、これまでその場限りのものだったかもしれない。ただ、現在ブース内では、密を避ける運営オペレーションのために、最大人数にも制限がある。ライブ配信やアーカイブ動画などで再利用することで営業資料として活用し、展示会への参加人数を制限する企業向けには、リアル参加者と同じ情報の質を担保した提案ができ、報告すべき参加者の負担も下げ

ることができる。

特殊な例だが、「神戸国際宝飾展」の会場内では、卸・小売のバイヤーのほかに、個人販売代理としてソーシャルバイヤーの存在が大きく、主催者がライブ販売専用ブースを用意していたほか、ある出展者はブースの一角に自社ロゴとライブ配信用の照明を用意した簡易なスタジオを用意していた。

人を介して販売するという構造は、別の商材やサービスでいえば決裁者と提案者の情報伝達とも同様で、いかに展示会のために準備した情報の質を落とさずに決裁者に届けるかという意味では、動画の活用も検討が必要だ。

NISHIOのオーダーメイド プラダンコンテナ

受注製作
開始!!



1個から製作OK!

内容物に合わせた
オリジナル設計

緩衝材も合わせて
大切な商品を
しっかり守ります。

NISHIO

西尾レントオール株式会社
RA東京営業所 RA東京スタジオ

東京都足立区西保木間2-5-10
✉ ratokyo-sign@rent-all.co.jp
Tel 03-5851-9240
Fax 03-5851-9267

イベントの成果を 最大化する

イベント・アーカイブズ



取材 記事作成 写真撮影 動画撮影 ニュース配信

イベント専門出版社の取材力と発信力、撮影・編集のプロフェッショナルとのネットワークを活かし、自社セミナー、新商品発表会、展示会出展などの、プロモーションの様子を再編集し、アーカイブ・編集することで、イベントの出展効果を最大化できます。

イベント・アーカイブズについてのお問合せは

株式会社 MICE 研究所

〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル5F
TEL 03-6721-5303 / info@event-marketing.co.jp
https://www.event-marketing.co.jp

赤坂インターシティコンファレンス 安心を可視化し Facet to Face 再開へ



株式会社インフィールド
Director

赤坂 拓也さん

赤坂インターシティ
マネジメント株式会社
施設マネジメント部 副部長

納 章太さん

撮影場所：赤坂インターシティコンファレンス内 Boardroom

高級ホテルのような空間ときめ細やかなサービスが自慢の会議室をもち、大規模な国際会議からVIPを招待するイベントまで行われる「赤坂インターシティコンファレンス」。オーナーと運営者の目指す施設像とコロナ禍での対応を聞いた。

「赤坂インターシティコンファレンス」は東京・赤坂エリアに開業してから3年が経ちました。どのような施設計画で、利用者を想定されたのでしょうか

納 上質な空間とサービスの提供にこだわり、ここでのイベントや会議が利用者の記憶に残るようなコンファレンス施設を目指し計画された会場です。共用部面積が会場面積よりも広く、ONとOFFのシーンそれぞれを大切に設計になっています。特にOFFのシーンでは利用者同士のコミュニケーションが促進されるようなリラックスできる空間を創出しております。

赤坂 特徴の一つは、「KIOSK」サービスです。「いいアイデアは、いい環境から生まれる」というコンセプトのもと、ラウンジに飲み物とスナックが楽しめるサービスを常設しています。利用者層には赤坂という場所柄、外資系企業様を想定して、メインホールのthe AIRには同時通訳ブースを設置、受付にも英語対応ができるスタッフが常駐しており、国際的な会議や講演にも対応できます。

抗菌コートを実施

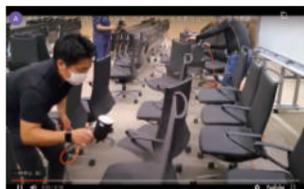
——コロナ禍でのイベント開催においての会場の取組みは

納 主催者様が安心してイベント開催できることが絶対条件です。感染予防として会場側でできることは何か、利用者のニーズは何かを考え、徹底的に取組みました。特に、感染予防対策の備品は主催者側へ提供できるよう、真っ先に揃えるべくさまざまな商社と相談し、調達ルートも先行して動きました。

赤坂 感染予防対策備品の多さと細かな対応にはみなさん驚かれます。主催者側で用意するものだという前提でいらっしゃる方も多く、マスクや消毒液だけでなく、ソーシャルディスタンスレイアウト「ゆったりとした座席幅」「ソーシャルディスタンスに必要な座席間隔」を会場スタッフがメジャーで測り計算しながら、「コミュニケーションが一番取りやすいレイアウトスタイル」のご提案もしています。

——安心の可視化は大切ですね。みえない対策もあるのでしょうか

納 Webサイト上でも発信していますが、抗ウイルスコーティングを全会場と備品に施しました。日々の定期消



抗ウイルスコーティングを実施

毒と合わせ、抗菌も徹底しています。

赤坂 イスやテーブルだけでなく、マイク、演台、司会台、ドアノブや壁に至るまで実施し、この対策と感染予防対策備品をお伝えしたことで会場選定の決め手になった催事もあります。かなりコストもかかりますし、ここまでの対応をしている施設は少ないと思います。

リアルの付加価値を提供

——オンラインイベントも増えているなかでのリアルの価値とは

納 オンラインは一方通行のインプットには効率的ですが、クリエイティブな議論には向きません。なにかを創り上げていくには相手とのコミュニケーションがやはり必要ですし、相手と同じ空間、時間、環境を共有しながら関係性を育むことがオンラインには無いリアルの価値だと思います。

赤坂 お客様から「ウェビナーが多くなり、商材の質問がしづらい、コネクションがつくりづらい」とお聞きします。やはり参加者同士の交流のなかでしか生まれないイマジネーションがあるのだと思います。リアルの場の熱量に対しても替えは効かないと思っていますし、一期一会でもある、リアルな場の化学反応はリアルでしか生まれません。そのためにも新たなアイデアが生まれる場として環境を整える必要がある。そういった場に「赤坂インターシティコンファレンス」は相応しい会場だと思っています。

名古屋市が出展料負担で開催

—— 感染症対策総合展

9月9日から3日間、ポートメッセなごやで「名古屋から提案! 新しい生活様式のビジネスシーン 感染症対策総合展」が開催される。主催者は名古屋市、(一社)日本展示会協会、(一社)日本ディスプレイ業団体連合会で構成される感染症対策総合展実行委員会。

8月12日に名古屋市観光文化交流局の柳原貴人さんがイベントマーケティングニュースに生出演した。

「街のあらゆるところにある感染症のリスクを防ぐためのソリューションを集める」こと以外に柳原さんがテーマに掲げたのは「Withコロナ時代にどのように経済活動を続けるか」ということ。

展示ディスプレイ業者や電気工事、ケータリング会社など裾野の広い展示会産業の企業への深刻なダメージを予測。コロナ禍収束後に展示会を開催する機能が失われることがないように方策を考えた。給付金は資

金繰りを改善するが、恒久的な解決は仕事をつくること、つまり展示会を開催することだと結論づけた。

9～10月の早い時期に開催するのに出展料を名古屋市が負担し出展営業の期間を減らす方策をとった。名古屋市の補正予算をつけるために6月の定例市議会に上程、議会の承認をえて7月6日議決した。残り2か月で開催準備を行う。

この動きを全国につなげるため、実行委員会に全国規模の業界2団体に参画を仰いだ。柳原さんは他地域での開催にも積極的に協力するという。



柳原さんの動画インタビューは本紙のYouTubeチャンネルで視聴できる

実験的作品のフィードバックを

—— IMG SRC

デジタルコミュニケーションを手がけるイメージソースは「IMG SRC PROTOTYPES VOL.07 ONLINE VERSION」を実施。同社が開発しているさまざまなコンテンツプラットフォームを紹介した。

今回の展示の場であるオンラインイベントシステムは「ONLINE EVENT SOLUTION by IMG SRC」は少人数のグループ参加・視察を想定したもので、双方向のコミュニケーションを重視した設計で、自由行動と誘導性がほどよいバランスになっている。WEBベースでの運用はアプリと異なりダウンロード不要で参加できる。

「TALK VISUALIZER」は話した言葉がテキストとなって画面上に映し出されるソリューション。発言者によって異なる色で表示され、わか



ONLINE EVENT SOLUTION by IMG SRC

りやすさと楽しさが両立している。「LIVE/AUG」はライブストリーミング映像にリアルタイムでARを同期させる技術。アーティストの楽曲に合わせて、さまざまな演出を空間に出現させる。密を避けた生活様式での新しい音楽ライブの楽しみ方を味わえそうだ。

今回イベント関係者やプレスに公開された作品は実験的な制作やR&Dの成果で、参加者のフィードバックをもとに、顧客のプロジェクト向けのコンテンツへと進化していく。

「国内トップクラスの環境性能」 「抗ウイルスコーティング」

☑ WEB 会議・ウェビナー「高速インターネット」「単独回線」



AI CC 赤坂インターシティコンファレンス
AKASAKA INTERCITY CONFERENCE CENTER

溜池山王駅・国会議事堂前駅直結

03-5575-2201





「東京ギフト・ショー」90回連続開催するビジネスガイド社

これからの見本市の在り方

「東京インターナショナルギフト・ショー」を90回連続で開催してきた見本市の老舗主催者・ビジネスガイド社。コロナ禍で実践するこれからの見本市の在り方を代表取締役社長の芳賀信享さんにうかがった。

半年待って 9月からいよいよ再開

「3月予定の『京都ギフト・ショー』は、出展社が昨年より2倍で開催する予定でした。約250社のうち150社が伝統工芸品などを扱う京都企業が一堂に集まり、工房を訪ねるオープンファクトリーの企画もあって、京都市でも力を入れていたんです」（ビジネスガイド社・代表取締役芳賀信享さん）

2月26日の安倍首相からのイベントの自粛要請から緊急事態宣言解除までの期間、ビジネスガイド社では、「京都ギフト・ショー」を含め、3都市4件の見本市を開催中止・延期せざるを得ない状況になった。○ビジネスガイド社主催の中止・延期となった見本市*（ ）内は当初予定
「第2回京都インターナショナル・ギフト・ショー2020」（3/11～12・京

都市勤業館）
「第61回インターナショナル プレミアム・インセンティブショー春2020」（5/12～14・池袋サンシャインシティ・コンベンションセンター文化会館）
*会期変更
「第16回福岡インターナショナル・ギフト・ショー2020」「第9回福岡国際ビューティ・ショー2020」（6/4～6・マリンメッセ福岡）

芳賀さんは、3月・京都については、緊急事態宣言の時期と当初の対象地域になかったこと、多くの開催支援者の声があったことを受け、ぎりぎりまで検討を重ねたが、「安心安全」面を懸念し、断念したと当時の心境を振り返る。

自粛期間を終え、販促・ギフト業界は秋以降、年末商戦に向け準備中だ。「半年待った見本市、いよいよ9月からはじめます」と開催を宣言する。

完全事前登録制へ移行し 非接触へ

ビジネスガイド社では、9月から10月にかけて3つの見本市を展開する（別表）。

「今後、見本市開催は新型コロナウイルスとの共生が不可避です。二次感染リスクを最小限にとどめつつ、主催者として万全な対策を講じながら見本市再開と新製品の市場への流通を止めないという義務と責任を果たします」として、芳賀さんが示すのは、詳細な対応指針だ。政府、日本展示会協会、「第90回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2020」の会場となる東京ビッグサイトの指針を参考にしており、特にリスクが高いとされる、①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話が発生する密接場面の発生防止に重点を置いたもの。

「来場者には、これまで紙の招待状を持参して受付で対応していましたが、今回からすべての見本市で、完全事前登録へと移行します。来場者はQR付入場証をプリントし、入場口でリーダーにタッチ。非接触で受付時間の大幅短縮になります」と、事前登録を促すDMを送付する（本紙にもDM同梱有り）。

また「東京ビッグサイト発表の最大収容者設定（別表）に基づいて入場管理を行い、ホールごとに定めて

いる最大収容者数を超えた場合は、入場制限を実施します」と会場内での来場者対応についても徹底する。

出展社対応では、バイヤーとの商談シーンを想定し、1ブース（9㎡）のスタッフ人数を4名までに制限、マスク・フェイスシールドの着用を出展社に求める。9、10月開催分として出展社向けに2万個のフェイスシールドを準備し、無償配布するという。

東京ビッグサイトが定めた「イベント開催制限期間中の各施設の最大収容者数」

棟名	施設名	面積 (㎡)	イベント開催制限期間中の最大収容人数 (人)
西展示棟	西1ホール	8,800	4,850
	西2ホール	8,800	4,850
	西3ホール	4,680	2,550
	西4ホール	6,840	3,750
南展示棟	南1ホール	5,000	2,750
	南2ホール	5,000	2,750
	南3ホール	5,000	2,750
	南4ホール	5,000	2,750
青海展示棟	Aホール	11,620	6,350
	Bホール	11,620	6,350

「驚き」「感動」心を熱くする新製品との出会い。広げよう世界の絆

特別イベント

- 「癒し」コーナー～五感に訴えるリラクゼーション～
- おうちでキャンプ!!～STAY HOME CAMP～
- 女性のハートをキャッチするギフトグッズコンテスト
- 防災グッズinギフト・ショー
- 新製品コンテスト
- 輸入品人気コンテスト

様々なイベントで会場を盛り上げます!!また、専門家によるセミナーも多数用意。ぜひご来場ください。

会期
2020年10月7日(水)-9日(金)
10:00～18:00(最終日は17:00まで)
※流通関係者のみ対象です。一般の方はご入場できません。

会場
東京ビッグサイト (西・南展示棟)

スマートフォン、PCより事前登録

コロナウイルス感染症拡大防止対策として、完全事前登録ならびに分散来場をお願いしております。

スマートフォンから↓
https://www.giftshow.co.jp

パソコンは公式HPから↓
https://www.giftshow.co.jp

同時開催
東京インターナショナル ギフト・ショー 秋2020
The 28th GOURMET & DINING STYLE SHOW Autumn 2020
The 8th LIFE x DESIGN

主催：
株式会社 ビジネスガイド社
〒111-0034 東京都台東区雷門2-6-2 ギフトビル

TEL：03-3843-9851 FAX：03-3843-9850

今年の冬は
暑くなる

2020
12.21.MON@TORANOMON HILLS FORUM ~初の冬開催~
体験型マーケティングに学び、出会う1日
#backstage20

BACKSTAGE

進化する見本市のDX

見本市のDX（デジタルトランスフォーメーション）は、来場者の登録だけではない。専門家によるセミナー付きの出展社説明会は、オンライン上で好きな時間にみることができるよう、オンデマンド配信で対応に切替え、事前配布のテキストをもとに説明。多くの参加があり通常リアル時には1出展社の参加人数に限られるが、オンラインではいつもの倍以上の参加になったという。また、バイヤーズガイドブックの電子化、アプリの活用、Twitterによる見所紹介、Facebookを活用したLIVE映像配信、YouTubeでの動画アップで「グルメ&ダイニングスタイルショー」では生産者の生の声が届くチャンネルからの配信など、展開する。

株式会社ビジネスガイド社
インターナショナル・ギフト・
ショー事務局長
芳賀 信亨さん



「ネット+リアルのオムニチャネル小売店も多く、見本市も合わせて進化してきます。出展社商品情報検索サイトでは全出展社の情報をフリーワード、出展社名、出展エリア、商品ジャンルで検索。機能を新たに拡充し、来年2月までにBtoBのバーチャル見本市を立ち上げ、リアルとバーチャルでオムニチャネル型見本市を行う予定です」という芳賀さんは、バーチャルの場は一つの選択肢

であって、リアルの場合には決してなくなり続ける。

「BtoBの見本市で特にギフトや販促の商材は、新商品の商談の場。色合い、素材、触感といった目利きを、市場の最前線にいるバイヤーがするので生のは欠かせないんです。なぜなら、その新商品は、どんなにいいモノでも感動する体験があるかどうか、人と人とのつながりの部分が大きく影響しますから」

光回線サービス最短1日でメンテも

—— サクラインターナショナル

7月末に大型展示会が再開したインテックス大阪では、展示会やイベントでの新様式に対応したサービスが注目されている。

その一つが「インテックス大阪の光回線サービス」。最短1日でインターネット環境を提供し、イベント会期中でも会場の常駐企業がサポートするので、即対応のメンテナンス体制が特徴だ。

「これまで光回線は、プロバイダーへの申込みに1ヶ月以上必要で、メンテナンスはなしでしたが、コロナ禍

で展示会でのオンライン対応やセミナーのライブ中継などの配信などのニーズがふえ、相談もふえてきています」とサービス窓口となっているサクラインターナショナルの今井雄彦さんは説明する。

インテックス大阪の1~6号館までどこでも対応。イベント主催者のサービスとしてオーダーフォームの一つにするなど、展示会の出展企業のブースにも高速でセキュアな品質を届ける。申込み・問合せは、050-5804-1783まで。

3Dプリンターなど先端技術を展示

—— フォームネクストフォーラム 東京

9月24日・25日の2日間、東京都立産業貿易センター浜松町館で、3Dプリンティングなどのアディティブ・マニュファクチャリング(AM/積層造形、以下AM)を中心とした、最先端の技術展示とセミナーの複合イベント「フォームネクストフォーラム 東京」を予定通り開催する。ドイツ・フランクフルトの国際見本市「フォームネクスト」の姉妹イベント。AM、デザイン、製造・加工技術、製品、材料、サービスなどの販路開拓に活用でき

る。主催者はメッセフランクフルトジャパン株式会社。代表取締役社長の梶原靖志氏は、新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮し、一般社団法人日本展示会協会の「COVID-19感染拡大予防ガイドライン」と、東京都立産業貿易センターの「新型コロナウイルス感染防止の取組みと主催者向けガイドライン」に従い、出展者や来場者が安心して参加できる商談の場を提供する、としている。

○ビジネスガイド社が主催する9月からの再開見本市

「第61・62回インターナショナル
プレミアム・インセンティブショー
2020」
会期：9月9日(水)～11日(金)
会場：池袋サンシャインシティ・コンベンションセンター文化会館
入場：無料(事前登録制)

「第62回大阪インターナショナル・
ギフト・ショー2020」
会期：9月17日(木)・18日(金)
会場：OMM(大阪マーチャндаイズ・
マート)2階
入場：無料(事前登録制)

「第90回東京インターナショナル・
ギフト・ショー秋2020」
会期：10月7日(水)～9日(金)
会場：東京ビッグサイト(西・南展
示棟)
入場：無料(事前登録制)

博覧会・展示会の企画に参画させて下さい。



飯田電機工業株式会社

<http://www.iidae.co.jp/>

- イベント事業本部 〒136-0082 東京都江東区新木場1-8-21
TEL 03-3521-3522 FAX 03-3521-3524
- 千葉事業所 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田2-38 幕張ビル
TEL 043-273-2441 FAX 043-273-2531
- 池袋サンシャイン事業所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館3F
TEL 03-3982-9551 FAX 03-3982-9564
- 大阪事業所 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル
TEL 06-6543-2880 FAX 06-6543-2884
- インテックス大阪事業所 〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102 インテックス大阪内
TEL 06-4703-5401 FAX 06-4703-5402
- 本社事業本部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 表参道IIDAビル
TEL 03-3409-3333 FAX 03-3409-0104
- 東北事業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-10-17 仙台一番町ビル6F
TEL 022-716-2077 FAX 022-716-2078
- 本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7
TEL 03-3409-3331 FAX 03-3409-3827



みなさま、お待たせしました。 お待たせし過ぎたかもしれません。

主催者の方々には、イベント参加者を満足させることに集中して欲しい。そんな想いから生まれた、イベント主催者向け情報サイトが「イベントバズール」です。イベント会場、集客ツール、運営サービス、ケータリング、などなどイベント開催に欠かせない情報を、ワンストップでチェックできるサイトを目指しています。

いま、イベントバズールは、皆さまのお役に立つため、さらに見やすく、さらに情報を増やして、生まれ変わろうとしています。



いよいよ次号

β版の情報掲載開始!

- イベントスペース event space
- 集客・運営ツール management tools
- イベント告知 event
- ケータリング catering
- ノベルティグッズ novelty goods

<http://eventbuzzle.com>



EVENT MARKETING からの大事なお知らせ

イベントは大阪だ!
エネルギーが止められない

次の2020年9月30日号で特集します

だれも私を止められない♡



- 10月31日 イベント人材の採り育て方
- 11月30日 スポーツ・地域・スタジアム
- 12月28日 結局コロナはなんだったのか
- 1月31日 企業がやるべきイベント・やってはいけないイベント
- 2月28日 空間ディスプレイ特集”行きたくない”をデザイン

広告出稿の問合せはこちら▷株式会社 MICE 研究所
info@event-marketing.co.jp (担当: 田中力)

思い思いのニューノーマル



山名 清隆 さん

「ミズベリング」プロモーション事務局プロデューサー
株式会社スコップ 代表取締役社長

「水辺で乾杯2020」では、コロナ禍でも、つながるアクションが進行中。思い思いのニューノーマルをと伝える山名清隆さんに、捉え直すこと、創造的な場にするためのコツをミズベリングの活動から教えてもらった。
(一部7月10日収録「コースケ・よーこの不要不急な話」より)

「今年の『水辺で乾杯』は9月9日6時6分ですよ。ドレスコードはマスクとサムシングブルー。オープンエアだからできるニューノーマルな水辺の楽しみ方を工夫してみる大会」

8月20日、「ミズベリング」プロジェクト事務局プロデューサーである山名清隆さんから、今年らしい「水辺で乾杯」の提案が流れてきた。

「水辺で乾杯」は、例年、7月7日の川の日、午後7時7分に、全国一斉に自分の住む街・働く街の近所で乾杯したい水辺に仲間と集まって、それぞれに乾杯するというゆるいイベントだ。Webサイトに用意されたGoogleマップに乾杯する場所のピンを立て、実施後には写真を投稿して共有する。乾杯宣言数では、これまで最大

で335箇所(2016年)、10,404名(2017年)が参加するソーシャルアクションになっている。

コロナ禍で、「今年の7月7日はどうする?」という会議をオンラインで開催したのが5月。緊急事態宣言に入ってからすぐの頃で、いまもまた状況が異なっていた。結論としては、事務局としてはじめて当日は実施しないということで、延期という言葉でもなく「スライド大作戦」と、あくまで主体的に宣言していた。



キャブ

イベントも新様式が求められるなか、ニューノーマルなソーシャルアクションのつくり方について聞くと、山名さんは「いま、新様式ということが共有されていますよね。それを僕は、押し付けられたものとしてではなく、ユニークなできごととして、この時期にこういうことを味わえている、これはとてもユニークなところに生きているなと感じる」とポジティブに解釈する。「ニューノーマルにしなければいけない、と考えるのではなく、ニューノーマルをサブカルチャーとしてどう捉えるか」など、さまざまな視点で捉え直し、いかに創造的になれるか、そんな時だとも話す。

もともと「水辺で乾杯」は、新しい水辺の活用の可能性を切り開くための官民一体の協働プロジェクト「ミズベリング」の一つとしてはじまったもの。2011年に河川法が改正し、市民の水辺活用を促進するためにはじまった「ミズベリング」は、禁止事項ばかりの看板が立って、誰かの許可を得ないと近づいてもいけない、といった水辺空間に対する空気や社会通念を変える活動だった。そのためには、「柔らかに発想して、楽しく水辺の行動を考える、モノはつくらなくてもよいので、コトを考える仲間をつくるのが必要だった」と山名さんは振り返る。

9月9日のスライド大作戦も、「水辺のワーケーション実験」「マイクロリズム」「水辺の防災ニューノーマル感覚を磨く実験」といった視点で工夫をする大会として意欲的に取り組む。「無謀になれということではなく、賢く面白くすることで、みんなの勇気になる」と話す。

あらゆる価値観を再定義する場所
point 0

#08

「point 0 ×アサヒビール」

Powered by point 0



写真:森のタンブラー

働き方、生活スタイルが大きく変わってきたが、行為として変わらないものとして「食べること・飲むこと」がある。あまりにも身近な行為にまつわるものであるからこそ、パッケージやこれまでの先入観を見直していくべき時代に入ったのではないかと。

今回は、point 0に初期から参画しているアサヒビール(株)のイベントレポートをお届けする。

ようやく見直され始めたプラスチック

海洋プラスチック問題や石油資源の枯渇、地球温暖化といった環境問題はこれまで世界中で話題に上がっていたが、少しずつ光が差してきている。アサヒビールとパナソニックは共同で再利用可能な植物由来の「森のタンブラー」を開発した。飲み応えにもこだわっているが、これから楽しく・美味しくに、「環境に配慮された」という前置きが当然のように付加されていくことになるだろう。

家でもできる、美味しいビールの注ぎ方



Point 0

外出自粛となっても人とのコミュニケーションは欠かすことができない。そんな中、今回のイベントでは、ビアブルヴァード代表取締役の佐藤裕介氏がピルスナーウルケルを例に、美味しいビールの注ぎ方を参加者に伝授。今回の参加者には冒頭で記載した森のタンブラーが事前に発送されていたので、家でも会社でも手元でビール講座を受けることができた形だ。



酒類開発に用いられている官能検査とは?

筆者も初めて知ったことだが、酒類の開発には「官能検査」が行われている。人間の五感を用いて製品の品質を評価する検査で、好き/嫌いを排除し、外観・香り・味を分解して分析を行う。品質管理観点からも主力商品については、毎日全8工場(1工場あたり10名弱)で官能検査を行っている。

検査には共通言語が用いられるが、表現コメントカテゴリ数は約50個以上に及ぶ。新商品やリニューアル商品の場合は、官能検査の結果がマーケティングや販促に活用されるケースもあるという。(文・岡本侑子)

EVENT MARKETING

FREE PAPER

読者Profile

大手メーカー・メーカー

▶年間イベント件数:約20件
デジタルマーケティングと
オフラインを組み合わせて
販促とファンづくりに

製薬会社 ミーティングプランナー

▶年間イベント件数:100件超
業界のファーストムーバーとして
異業種のトレンドを知り
講演会に活かしたい

IT企業向け マーケティングサポーター

▶年間イベント件数:約150件
イベントマーケティングに関わる
テクノロジーやツールについて
情報収集したい

毎月30日発行

定期送付申し込み

発行所:株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9
ABCビル 5F
TEL03-6721-5303
sofu@event-marketing.co.jp



特集

イベントマーケティングのトレンドを
国内外の事例や動向から分析し、
メーカー・イベントの
皆さんと共有します。



国内・海外ニュース

ツールや
テクノロジーの最新情報、
開催直前概況・
事後レポートなどを
紹介します。



コラム

幅広い視野と独自の視点、
経験をもつ
著名人が執筆します。



インタビュー

リアルコミュニケーションを
楽しくをテーマに
話題の方々ほか、インベーター、
イベントメーカー、
主催者の声を収録。



調査・レポート

効果測定や開催状況の集計、
効果最大化の手法など、
face to faceを科学する
レポートをお届けします。